

一般質問

重要な政策は 慎重かつ十分な議論を

その他の質問 ○岸和田競輪場再整備基本構想

稲田 悦治

【問】中核市への移行は、本市の浮沈にかかわる重要課題である。短期間でどのような検討をして移行すると判断したのか。

【答】府からの権限移譲により、岸和田のことは岸和田自身で意思決定ができ、泉州の中核的な都市として、持続可能なまちづくりが可能となると判断し、移行を決定した。

【問】市長は、施政方針に掲げた中核市への移行を中止した。施政方針の重みをどう捉え、責任をどのように考えているのか。また、ただちに健全な財政運営に取り組むとのことだが、その考えについて聞きたい。

【答】府や関係機関に対しては、速やかに出向き、信頼関係の構築に向け努力している。

施政方針に掲げ、移行の思いを持って進めてきたなか、見送りは非常に残念であるが、今後は、速やかにプロジェクトチームを結成し、財政再建に取り組んでいきたい。

【問】競輪場再整備基本構想における対応について謝罪しながら、中核市への移行表明及び中止についても議会を無視した。こうした対応について聞きたい。

【答】もっと早い段階で報告できなかったことについては、おわびしたい。

一般質問

ギャンブル施設 「馬券売り場」は必要か

その他の質問 ○元陸会館の廃止・処分を含めた計画

京西 且哲

【問】建て替えによる競輪場の再整備計画は中止となったが、場外馬券売り場の新設は計画通り進めるとのことである。設置にかかる許可申請の手続きと議会の同意について聞きたい。

【答】周辺地域などの同意をもとに、兵庫県競馬組合が農林水産大臣に場外設置の申請を行い、審査を経て承認されることとなる。議会での同意は必要ないが、進ちよく状況は説明する。

【問】競輪場は、来場者数や収益の減少から、施設のコンパクト化による管理コストの削減が必要である。また、市は施設の多目的化を考えており、こうしたこ

とから、周辺地域だけでなく、広く市民の意見を聞く必要がある。そのために開催するタウンミーティングの日程と、競輪事業をゼロベースで検討するための外部の専門家を交えた組織の設置について聞きたい。

【答】施設整備については、これまで地元と協議しており、今後も引き続き地域の住民に相談しながら検討する。そうしたなか、タウンミーティングについても日程調整を行っている。

また、事業収益の推移を検証するうえで、外部の専門家の意見聴取について検討していきたい。

一般質問

多様な人材で 問題の解決を

その他の質問 ○元陸会館の廃止・処分を含めた計画

松本 妙子

【問】学校や教員が学校外の専門スタッフと連携・分担して業務にあたる「チーム学校」について、取り組み状況を聞きたい。

【答】本市では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、外部の人材活用を進めている。臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーは、各中学校に週1日常駐し、子供の多様な悩みに対して専門的な立場からアドバイスをを行っている。

また、近年は子供や保護者が抱える課題は福祉と切り離せないものが多いことから、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有するス

クールソーシャルワーカーが適切な指導や支援を行っている。

【問】家庭教育における現状と課題について聞きたい。

【答】家庭での学習時間が少ないといった学習面での課題だけでなく、食事や入浴などの日常生活面でも十分な養育が行われていないと見られるケースもあり、近年の家庭の教育力は全般的に低くなっていると思われる。

市としては、家庭に負担や責任を求めるだけでなく、学校でできることは受けていくとともに、子供や保護者により一層寄り添う努力を続けていきたい。

一般質問

十分な体制で 虐待の防止を

その他の質問 ○元陸会館の廃止・処分を含めた計画

桑原 佳一

【問】本市では、児童虐待の早期発見と適切な支援及び保護を図るため、法に基づき関係機関からなる協議会を設置している。

協議会が支援対象として認めた要保護児童の数は年々増加し、平成27年度が329人と25年度に比べ50%も増加する緊急事態となっている。

そのようななか、協議会での実務者会議では、1回4時間の開催で約80人の児童に関する報告・検討を行っているとのことである。

1人あたり約3分の報告・検討で十分な判断ができていると言えるのか。

【答】児童や家庭の現況確

【問】本市には、10億円以上必要とされる市営住宅の建て替え計画が既に2つある一方、民間で空室や空き家が8千戸もある。

公共施設最適化計画において、施設を削減しなければ維持管理費で市の財政がもたないとされるなか、建て替えではなく、家賃補助制度を導入し、空き家を活用すべきと考えるがどうか。

【答】家賃補助制度は民間住宅空き家の活用にも有効で、来年度見直し予定の市営住宅ストック総合活用計画では、戸数の検討を含め、市営住宅の建設と民間空き家の有効活用を比較研究し

ていきたい。

【問】前定例会において、競輪場再整備基本構想策定等業務委託の事業者選定が、外形的に公明性を欠くとした疑義があった。

こうしたことを繰り返さないために、プロポーザル契約方式についての基準づくりが不可欠であるが、どう取り組んでいるのか。

【答】手続きの手引きとして来年度より活用できるよう、今年度中のマニュアル策定をめざしている。

それにより、プロポーザルの実施手順や提案者の募集方法、提案の期間、外部の意見を聞くための方法などを統一する。

一般質問

生涯学習の拠点 使いやすい施設に

その他の質問 ○元陸会館の廃止・処分を含めた計画

岩崎 雅秋

【問】現在、図書館本館にはエレベーターと車いすが回転できるスペースのあるトイレがない。エレベーターと多機能トイレの設置を求めるがどうか。

【答】エレベーターについては、建物内部への新たな設置が困難であり、外付けで設置できないか検討する。

また、車いすの方や乳児連れの方が楽に使えるよう、1階のトイレの多機能化をめざしたい。

【問】ホテル・旅館の誘致について、各種申請などにおけるワンストップ化や簡素化、トップセールスも含めた積極的な営業を行うべきと考えるがどうか。

【答】書類申請などについては、担当課で連携し事業者の負担軽減に努めるとともに、進出意欲の妨げとならないように対応したい。

また、トップセールスとして、民間事業者などに積極的に出向いており、今後もあらゆる手段を使って誘致していきたい。

【問】市内3つの漁業組合を中心に、「地蔵浜みなどマルシェ」が開催されているが、交通アクセスが悪いにぎわいの創出やまちの活性化のため、本市も関わるべきと考えるがどうか。

【答】今後交通アクセスも含め、開催を継続できるよう支援を検討したい。